

米国エネルギー省（DOE）が4月18日に発表した、インフレ削減法（IRA）に基づく先端エネルギー製造投資税額控除（内国歳入法セクション48C）の一部プロジェクトの詳細は以下のとおり。

(1) クリーンエネルギーおよびクリーンビークル製造

【再生可能エネルギー関連】

- ・ハイランド・マテリアルズ：太陽光発電向けポリシリコンの製造（テネシー州、2億5,560万ドル）
- ・JSW スチール：洋上風力発電に必要なポールタワー向けの鋼材スラブの生産設備の導入（オハイオ州、4,350万ドル）
- ・LS グリーンリンク：洋上風力発電向け海底電力ケーブルの生産設備の導入（9,906万ドル）
- ・ソーラーサイクル：太陽光パネルのリサイクルによる太陽電池用ガラス生産のための設備拡張（ジョージア州、6,419万ドル）
- ・ボイス・ハイドロ：水力発電用部品の生産設備の拡張（ペンシルベニア州、583万ドル）

【小型モジュール式原子炉関連】

- ・X-エナジー：核燃料製造施設の新設（1億4,850万ドル、テネシー州）

【燃料電池関連】

- ・ バラード・パワーシステムズ：燃料電池エンジンの製造施設の新設（テキサス州、5,400 万ドル）
- ・ スベラ・フュエルセルズ：次世代燃料電池の生産設備の拡張（マサチューセッツ州、1,411 万ドル）

【自動車関連（注）】

- ・ エンテック：リチウム電池用セパレーターの生産工場の新設（インディアナ州、2 億 198 万ドル）
- ・ eVAC マグネティクス：自動車等向けネオジウム鉄ホウ素磁石製造施設の新設（サウスカロライナ州、1 億 1,199 万ドル）
- ・ モービスノースアメリカ・エレクトリファイド・パワートレイン：現代や起亜向けの電気自動車（EV）用部品製造施設の新設（ジョージア州、5,767 万ドル）
- ・ MP マテリアルズ：モーター用永久磁石の生産拠点の設立（テキサス州、5,850 万ドル）
- ・ ウォールボックス：直流急速充電器などの製造施設の拡張（テキサス州、525 万ドル）

【省エネ関連】

- ・ ゴーラボ（ティンバーHP）：廃木材を使った建築用断熱材の製造施設への投資（メーン州、1,681 万ドル）

(2) 重要鉱物・素材

- ・ アルベマール：炭酸リチウム生産設備の拡張（ネバダ州、939 万ドル）
- ・ アメリカン・バッテリー・テクノロジー：リチウムイオン電池用リサイクル施設の新設（ネバダ州、1,958 万ドル）
- ・ アルセロール・ミタル：EV 用モーターなど向け非粒度電気鋼（NGOES）製造施設の新設（アラバマ州、2 億 8,050 億ドル）
- ・ ノボニックス・アノード・マテリアルズ：リチウムイオン電池用人工黒鉛の製造施設の新設（テネシー州、1 億 306 万ドル）
- ・ Nth サイクル：EV 用バッテリーなど向けのニッケル・コバルト混合水酸化物（MHP）製造施設の新設（オハイオ州、722 万ドル）

(3) 電力網

- ・ イートン：電圧レギュレータの生産設備の拡張（テキサス州、1,628 万ドル）
- ・ イートン：低圧開閉器、サーキットブレーカー、配電盤、分電盤などの生産設備の新設・拡張（テキサス州、900 万ドル）

- ・ イートン：データセンター、大型商業・産業施設など向けの三相変圧器の生産設備の
拡張（ウィスコンシン州、133 万ドル）
- ・ ヘレニック・ケーブルズ：送電網など向けケーブルの製造施設の新設（メリーランド
州）
- ・ モーメントエナジー：EV 用バッテリーの送電網向け定置型蓄電池への再利用のための
製造施設の新設（アラバマ州、600 万ドル）
- ・ プロレック GE：パッドマウント変圧器などの生産設備の拡張（ルイジアナ州、798 万
ドル）
- ・ プリズミアン：送電網向けケーブルの生産設備の拡張（ペンシルベニア州、389 万ド
ル）
- ・ シーメンス・エナジー：送電網向け大型変圧器（LPT）製造施設の新設（ノースカロ
ライナ州、1,831 万ドル）

(4) 産業の脱炭素化

- ・ コベストロ：高品質ポリマー生産における亜酸化窒素（N₂O）、窒素酸化物（NO_x）排
出量の削減（テキサス州、456 万ドル）
- ・ カミンズ：水素生産のための固体高分子（PEM）型電解槽の製造およびテスト（ミネ
ソタ州、1,060 万ドル）

- ・エレクトリック・ハイドロジェン：水素生産のための電解槽の製造設備の設立（マサチューセッツ州、1,835 万ドル）
- ・ジョン・コッケリル・ハイドロジェン：水素生産のための電解槽の製造施設の新設（テキサス州、3,415 万ドル）
- ・ミドルセックス郡公益事業局：汚泥・廃水処理を通じたメタンガス生産のための高度嫌気性消化施設の建設（ニュージャージー州、4,050 万ドル）
- ・ネル・ハイドロジェン：加圧アルカリ水電解槽と PEM 型電解槽の生産設備の拡張（ミシガン州、4,097 万ドル）
- ・トップソー：水素生産のための固体酸化物電解槽セルスタック（SOEC）製造施設の新設（バージニア州、1 億 3,590 万ドル）
- ・トゥエルブ・ベネフィット：二酸化炭素（CO2）を資源化するための電解槽の製造施設の新設（カリフォルニア州、2,850 万ドル）

（注）自動車関連で内国歳入法セクション 48C に基づく税額控除の対象になるものとしては、(1) ライトビークル、中型、または大型の EV・燃料電池自動車や、その技術、部品、材料、充電・燃料補給インフラ、(2) 車両総重量が 1 万 4,000 ポンド以上のハイブリッド車や、その技術、部品、材料、(3) 重要鉱物の処理、精製、またはリサイクルの 3 分野がある。

以上